

そこで、デパートなどの大きなベランダ床に使われている素材をチェックしたところ、プラスチックや合成材が使用されていました。しかし、これには大きな課題が存在していました。木と違い廃材処分するときに大きな環境負荷がかかります。また土台に金属（主にアルミで価格が暴騰）を使わなければならず、経費がかさむことが判明しました。

そこで探し出したのが、床材として「アフゼリア」材（原産地Ⅱ東アフリカ）とし、その土台として「ウリン」材（原産地Ⅱマレーシア）を用いる混合使用としました。

防水面の床と接する土台に「ウリン」材を用いて水による腐食を避け、その上に床板として「アフゼリア」材を利用することで、全体の重量を安全な範囲まで下げることが出来ました。

ただし、加工する大工さんにとっては硬度の硬さは工期時間の長さを要求するし、電動ノコ等の道具の傷みも加えます。

ちなみに、桧（国産）の比重は0・43で耐久性は3〜7年ということですが。これをもし使うなら毎年の小まめなペンキ塗りが必要になり、肉体への負荷、お金への負荷、環境への負荷も覚悟せざるを得ません。

この耐久性の結果がどうなるかは数年後を見なければ実際はわかりません。次にウッドデッキ材を使われる人への実験的資料を提供していけたらと思っています。

また、様々なところから取った情報に余りに多くの「エゴ」という用語が使われ、怪しげな使い方には注意が必要です。

## 改正建築基準法

姉歯建築設計事務所による構造計算偽装事件に端を発した耐震偽装の問題は、建物に対する不信感を招きました。

昨年は建築基準法が改正され、6月20日より施工されました。欠陥建築の除去をめざし、構造計算のチェックが厳格化されたのですが、建築確認審査が長期化し、住宅着工が大幅に減少するという事態を招きました。昨年7月の新設住宅着工数は前年同月に比べ約24%の減少、8月には約44%とさらにマイナス幅が拡大しています。

今回の改正で新たに構造計算適合性判定が新設されました。それにより提出書類の量や記載事項が増え、図書の訂正や差し替えが認められず計画の変更や軽微な変更も「差し戻し」「再提出」が求められ、さらには審査期間の延長も出来るようになってしまいました。

このような審査やチェックを繰り返すと手数は増大し、工期延長、工事ストップなどということとなります。設計事務所では手間だけが増えて増収にはつながらず、いつまでも認可がおりない。認可が下りなければ工務店は仕事が出来ない。そのためか、とあるデータバンクの倒産集計で、建築会社の倒産は前年比28%増となっていました。大手ゼネコンも業績を下降修正したり、経済に与えた影響は計り知れませんが、欠陥建築をなくすため建築申請を厳密に審査

することはあたり前のことですが、姉歯事件の総括も終わらぬうちに現場を理解していない人が大急ぎで法律を作った。そんな感じがします。また、一戸一戸の注文の建物ではなく大手ハウスメーカーの工場で作ったプレハブ的またはユニットハウスしか認可しない。そんな風にも思える法改正でした。

## 小規模工事もお気軽に

サザエさんの漫画の中には、時折、塀や屋根を修理する大工さんが登場して一騒動おこる場面がありますね。以前はそんな風に、気軽に近所の工務店・大工さんに仕事を頼むことができたものです。現在では、不況のあおりをうけて工務店は看板を下ろし、大工さん・職人さんはハウスメーカーや大企業に取込まれていきます。仕事をやってももらいたくてもやってくれないが目立たなくなってしまうています。

当組合では昨年280件の小規模工事をしました。小まめに巡回をし、迅速に対応を心がけ友の会会員様には大変喜んで頂いています。どんな工事もお気軽にご相談ください。

### 春の用語 住まいのクイズ

か	も	い	こ	く	ほ	う
ま	が	り	ね	ね	だ	つ
ち	も	す	く	わ	き	た
	な	や	た	い	き	た
ひ	げ	か	ー	き	あ	い
か	し	か	た	き	あ	し
ぜ	い	ち	え	ろ	し	や
い	ら	か	あ	ず	ま	や

こたえ

あぜくら